

「地域の皆様と心を通わす」

# 甲南通信



2020  
January  
No. 14

## 甲南医療センター 竣工式典・祝賀会 特集号



### 心臓リハビリテーション をご存じでしょうか?



日本心臓  
リハビリテーション学会認定医  
水谷 和郎 (循環器内科部長)

整形外科での手術後や骨折後、脳梗塞後のリハビリをご存じの方は多いと思いますが、心臓リハビリというとまだまだ十分には普及していない言葉ではないでしょうか。以前は心臓の病気に対して『安静』・『薬』・『手術』が治療の中心となっていました。しかし、現在は『安静』ではなく、治療として運動療法を含めた心臓リハビリを行うことが強く薦められています。

心臓リハビリは『ご自身の心臓に見合った強度での運動』・『減塩の食事』・『薬の必要性』・『心理面談』・『生活の見直し』・『検査やレントゲン等への理解』からなるプログラムです。心臓リハビリを行うことで心臓にとって有害な因子の改善や体力の向上、息切れや動悸(どうき)などの自覚症状の改善といった効果があらわれ、心疾患の再発予防や生活の質の改善へつなげることが可能となります。

#### <心臓リハビリの流れ>



#### 心臓リハビリの対象

主な対象者

- 心筋梗塞や狭心症の治療をされた方
- 心臓や血管の手術をされた方
- 慢性心不全と診断されたことがある方
- 下肢動脈が狭いため、歩くと足が痛くなる方
- 動くと息切れや胸痛、動悸の出現する方

- 高血圧や不整脈のある方
- 下肢のむくみ、急激に体重が増えた方



※適応症につきましては、外来主治医にご相談ください。詳細につきましては心臓リハビリ担当医より説明させていただきます。



#### 甲南医療センター

〒658-0064 兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16  
TEL:078-851-2161(病院代表)  
TEL:078-854-4370(患者サポートセンター)



#### 六甲アイランド甲南病院

〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中2-11  
TEL:078-858-1111(病院代表)  
TEL:078-858-2322(患者サポートセンター)

#### [甲南医療センター News]

- ◎ 近畿エリアの「働きたい病院」県内第2位
- ◎ 救急診療の強化により、救急応需件数が倍増
- ◎ 2020年4月、呼吸器内科が新設 常勤2名体制に



<令和元年10月26日/ホテルオークラ神戸>

式次第

式典

開式の辞 一般財団法人甲南会 理事長 平生 誠三  
 来賓挨拶 神戸市長 久元 喜造 様  
 神戸大学医学部 医学研究科長・医学部長 藤澤 正人 様  
 神戸大学医学部附属病院 病院長 平田 健一 様  
 神戸市医師会 会長 置塩 隆 様  
 一般財団法人住吉学園 理事長 竹田 統 様  
 神戸市会議員 安井 俊彦 様

祝電披露・閉式の辞

祝賀会

開会の辞 一般財団法人甲南会 常務理事 具 英成  
 甲南医療センター 院長  
 乾 杯 神戸大学 理事・副学長 杉村 和朗 様  
 松永貴志 Special Live  
 閉会の辞 一般財団法人甲南会 理事 三枝 康宏  
 六甲アイランド甲南病院 院長

開式の辞

一般財団法人甲南会 理事長

平生 誠三



甲南医療センター竣工式典・祝賀会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、甲南医療センター竣工式典・祝賀会に多くの方々がお越し下さいましたこと厚く御礼申し上げます。常日頃はひとかたならぬお力添えを賜り有難うございます。

さて、長年の懸念でございました創立以来85年を経過し、老朽化した甲南病院の建て替え工事を一昨年3月に着手致しました。風致地区で丘陵地における一連の難工事を、竹中工務店様はじめ工事関係者の皆様方のご尽力で、本年6月末に第I期工事を完工、この9月下旬からは380床の新病院として診療を開始することが叶いました。引き続き、来春より第II期工事を着工して、2022年春を目途に甲南病院既存館の改修、さらに100床を増床し、480床でグランドオープンする予定でございます。

また、新病院の竣工を記念し、この10月1日より病院名を甲南医療センターと改称し、新たにスタートを切りました。そして、甲南病院創立時からの基本理念である「人類愛の精神に基づき、悩める病人の為の病院たらん」とする患者本位の理念の延長上に、新たに「人の手で温かく接する心技一体の高質の医療を実践する」ことを甲南医療センターの理念及び行動指針といたしました。大規模な改修工事そして六甲アイランド甲南病院との統合・再編によって、甲南医療センターは地域の中核病院として神戸大学と連携し急性期医療に特化、また、六甲アイランド甲南病院はりハビリテーション機能を強化した回復期医療を中心とした病院とし、今後もより双方の病院機能を補完しながら効率的な運用を行ってまいります。

最後になりましたが、本日この様な竣工式典・祝賀会を迎えることができましたのも、ひとえに皆様方からのご支援の賜物であると感謝いたしております。これからも引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたしまして、私からの開会のご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

甲南医療センター 院長

具 英成



式典では久元神戸市長をはじめご来賓の皆様から身に余るご祝辞を賜り厚く御礼申し上げます。当院に奉職以来、平生鈺三郎氏の業績と甲南病院の長い歴史を知るにつけ日々新たな発見がございます。ついてはその一端を少しご紹介しご挨拶と致します。

当法人の小川守正前理事長、並びに上村多恵子理事の共著ですが、平生氏の伝記を最近手にする機会がございました。平成11年と17年に発刊された2編の評伝です。前編は平生氏の東京海上、川崎重工そして日本製鉄の社長、会長時代など実業家の足跡と甲南学園、甲南病院創立の社会事業家の足跡がしるされています。一方、後編は副題に昭和前史に見る武士道と銘打たれ、文部大臣など政治家、平生鈺三郎が語られています。時の内閣の総辞職で大臣在任は11ヶ月でしたが、義務教育の2年延長や、官によらず民による自由な大学教育のあり方など当時としては画期的な提言をされています。

また当院創設の1934年はまさに国を揺るがす大事件の谷間であり、3年前には満州事変、2年後に2・26事件などが起こっています。このような暗い時代に軍のシビリアンコントロール、反ファシズム、自由協商主義などを唱え、当時には珍しいリベラルな国際人として平生氏の勇気ある主張が語られています。

ところで最近、台風19号の被害について年々強まる自然の猛威が毎日話題になります。ちなみに10月17日付の朝日新聞の天声人語には1938年の阪神大水害について甲南大学の記念帳が紹介されていました。そこには被災学童の手記のこと、その教訓として大学敷地内に、「常に備えよ」との平生氏の言葉を刻む石碑のことが紹介されています。まさに街の至る所に甲南病院の創成期に重なる平生氏の足跡が残されていることに思い至ります。

さてすでに新病院はオープン1ヶ月になります。この度、職員の皆様と相談して甲南医療センターの理念と行動指針をあらたに創りました。お手元の甲南通信特集号にあるように心技一体、人の手で接する、心の深くに届く医療、いずれも創設者の武道の精神に通じる哲学です。



最後に本日は株式会社響映のお計らいで芦屋市出身の著名なジャズピアニスト、松永さんとお仲間を御呼びしました。また芦屋市の伊藤市長の来臨を賜りました。まさに当院が東灘に留まらず芦屋、灘など近隣の皆様に広く愛され、頼になる病院たらんと願いを込めた次第です。どうぞ最後までお楽しみ頂ければと存じます。

本日は誠に有難うございます。



## 祝辞

## 神戸市長 久元 喜造



みなさんこんにちは。ただいま紹介いただきました、神戸市長の久元喜造でございます。

甲南医療センター竣工、誠におめでとうございます。10月1日からこの新しいセンターで診療が開始されたとお聞きました。一般財団法人甲南会理事長平生誠三先生、甲南医療センター院長具英成先生をはじめ関係の皆さま方に、心からお慶びを申し上げます。

そして今日は、医学界、また医師会をはじめ、医療に関係する様々な分野の皆様方、のみならず政界や経済界の様々な皆様方が出席をされまして盛大に記念式典が開催されましたことにお慶びを申し上げます。

今年は甲南学園が創立100周年を迎えられ、盛大に記念式典が行われました。改めまして創立者の平生鈺三郎先生のご業績を学ばせていただくことができましたけれども、平生鈺三郎先生の大変幅広い分野にわたるご業績の中で、この甲南病院の創立は非常に重要な意味を持つということ学ばせていただきました。以来、甲南病院は戦前戦後を通じ、また戦時中の困難な時期を乗り越えて、救急医療や小児救急、周産期医療など地域医療の面で大きな役割を果たしてこられました。救急医療では、東灘区の救急患者の約9割を甲南病院と六甲アイランド甲南病院で受け入れていただけてきました。大変これは大事な役割を果たしていただいているということです。そして、HAT神戸に神戸こども初期急病センターがありますけれども、ここに来る子供達で入院が必要な患者さんについての多くを引き受けていただけてきました。

また、災害対応病院に指定をされ災害への備えということでも役割を果たしていただいています。震災を経験した神戸にとりましては、災害医療は大変重要な分野です。

さて、神戸市市政におきまして、市民の命と健康を守るというこの分野は大変重要な分野です。神戸医療産業都市も進めておりますけれども、神戸医療産業都市は海外の富豪のためということではなくて、市民の皆様にしかりとその成果が還元できるように、そして神戸から最先端の医薬品や医療機器を開発することができ、グローバル社会の中で貢献できるように進めています。また、『健康創造都市KOBE』を目指した取り組みも進めています。

認知症対策については、『神戸モデル』を開発いたしました。これには今日ご出席の皆様方の多大な、絶大なご支援とご参画がありました。

令和の時代は間違いなく、テクノロジーが進歩していき、これは医療の分野も例外ではありません。同時にテクノロジーの進化が人々の幸せに繋がるということが大変大事であると思います。そのことは、さきほど平生理事長のご挨拶の中で甲南医療センターがそのような考え方で進んでいかれるということを知り、大変力強く、また有難く感じている次第です。

甲南医療センターがこれからも、これまでの甲南病院の歴史を受け継ぎ人々の幸せのために大きな役割を果たし続けていかれますことを心よりお祈りをいたしますとともに、今日ご出席の皆様方のご健勝を併せてお祈りをいたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 祝辞

神戸大学 医学部  
医学研究科長・医学部長 藤澤 正人

ただいま紹介にあずかりました神戸大学医学部の藤澤でございます。本日は、神戸大学の医学研究科・医学部を代表いたしまして、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

甲南医療センターの竣工式を無事迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、本日の式典、祝賀会にあたり、理事長の平生先生、院長の具先生をはじめ、甲南病院の多数の関係者の皆様方の多大なるご尽力に敬意を表するとともに本日このように素晴らしい式典を迎えられたこと心から再度お祝い申し上げます。

神戸大学は、これまで甲南病院と連携しながら医療に取り組んで参りましたが、大学としましては最先端の医療の提供、また最先端の医学研究、高度医療人材の育成、医学にかかる基礎研究者の育成、さらには地域医療の推進という使命をもって日頃から努力をいたしております。

昨今は、ご存知の通り、医療は、医療現場、社会環境、また医療制度、最近の専門医制度をはじめとする若手の医師教育、様々な問題が押し寄せ本当に厳しい環境が迫ってきております。そのような中、神戸大学としましては執行部では、長年にわたり、前病院長の私、また前々病院長の杉村先生の時から、現病院長の平田先生まで、さまざまな問題に取り組んでまいりました。とくに、神戸大学が本当に強く密接に連携する、病床にすれば500~600床規模の大きな病院が少ないのが大きな課題だと常々思っておりました。神戸大学は、多くの大学の先生方、また行政の方々、特に兵庫県・神戸市の方々といろんな交渉を重ねる中で、国が再編を言い出す前から自ら先進的に医療機関の再編に協力し、既に北播磨総合医療センター、加古川中央市民病院、そして今年度は県立丹波医療総合センターと、3年後には県立播磨ひめじ総合医療センター(仮称)と、病院が次々と統合・再編されてきています。その中でこの度は甲南病院と六甲アイランド甲南病院が再編され、甲南医療センターが竣工を迎えられたことは、大学としても非常に嬉しい事だと思っております。

今や若手はいろんな情報が飛び交う中、魅力のある病院にしか赴任しない時代となっており、甲南医療センターがこの度竣工されたということで切にお願いしたいのは、自らのオートノミー(主体性)のもと魅力ある、そして力強い、いわゆるマグネットホスピタル、最強の磁力を備えた病院を作って頂くと思っております。大学もできる限り色々な面で協力したいと思っておりますし、日頃の若手の教育、また学生の教育に関しては、甲南医療センターには非常にお世話になるのは間違いありません。ぜひ、教育に関しても若手がぜひそこに行きたい、学びたい、と思われる病院づくりをして頂きたいと思っております。大学も今後できる限り、甲南医療センターと強く連携し、大学が甲南医療センターを、甲南医療センターが大学を、とお互いをサポートしWin-Winな関係の中でお互い発展していくことを願っております。

私自身、今日のこの式典の規模や様子をみて、甲南医療センターの前途は揚々たるものであり、間違いなく多くの若手がこの病院に魅了され集まることと確信しております。今後、職員の方々のご尽力によってさらに発展していきますことを心より祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございます。



## 祝辞

神戸大学 医学部附属病院 病院長

平田 健一



本日は甲南医療センターの竣工、誠にありがとうございます。このようなすばらしい記念式典・祝賀会にお招き頂き心から感謝申し上げます。

先ほど、藤澤医学部長・研究科長の祝辞にありました通り、このように素晴らしい病院が東灘区に出来たことは、神戸大学にとっても、又地元の皆様にとっても、非常に素晴らしいことだと思います。

厳しい医療を取り巻く環境の中で、甲南病院と六甲アイランド甲南病院を再編、機能分担されて、そして新しい甲南医療センターとして竣工されたことは、本当に関係者の皆様の諦念ご努力の賜物だと思います。甲南病院、六甲アイランド甲南病院は東灘区の医療を支える中心的な病院として役割を果たされて来られたわけですが、今後もますます厳しい時代の中で、東灘区やその周辺の神戸市、芦屋市など地域において救急医療や最先端医療を担っていく上で中心的役割を担われるのだと思います。そして、何より大事な事は甲南病院が長年掲げて来られた基本理念を継承され、地域に根ざした医療を提供されると同時に、若い人材の育成に努められることを心から期待しております。現在の医療において若い医師はもちろん看護師や多くの医療スタッフや職員の使命感、倫理観などを兼ね備えた医療人材が求められています。その中で甲南医療センターが伝統のある基本理念に基づいて果たして下さる役割というのは、若い医療人の育成に取り組まれることに非常に期待しています。地元の方々にとっても、この甲南医療センターが医療の砦として、最先端医療、救急医療に対する期待は本当に大きいと思います。患者さんを中心とした医療を提供するためには、病院で働く職員の皆様がモチベーションを持って働きがいのある病院として医療人が全国から集まってくるような病院になっていくことが必要だと思います。実際、具先生に伺っていても、病院の見学者、マッチングで応募した人も倍増どころか物凄い数が来ています。今後は、色々なモチベーションを持った方が集まってきますので、是非素晴らしい医療人を育成して頂いて、大学や関連病院で活躍されることを祈念しております。兵庫県において大学病院の東側に500床クラスの拠点病院がありませんでしたので、甲南医療センターには大学として大きな期待を寄せています。藤澤医学部長・研究科長が申し上げたように、大学と一体となって病院の発展を考えて行きたいと思っておりますので、これからは是非よろしく願いいたします。

簡単ではありますが私の祝辞とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。

簡単ではありますが私の祝辞とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。



## 祝辞

神戸市医師会 会長

置塩 隆



皆さん、こんばんは。ご紹介いただきました神戸市医師会会長の置塩でございます。このたびは甲南医療センターの竣工誠にありがとうございます。

1934年に六甲の南の甲南という地区に甲南病院として開院されて以来、神戸市東部、阪神西部の医療を担ってこられた歴史ある病院が、急性期医療に特化された新病院として9月24日から診療開始されましたこと、地元医師会として、敬意をもって歓迎させていただきます。そしてまた10月1日からは名称も甲南医療センターと変更され、本日このように盛大な竣工記念式典・祝賀会の開催につきまして心よりお慶び申し上げます。またお招きいただき誠にありがとうございます。

甲南医療センターにおかれましては、今まで以上に神戸大学病院との連携を強め、素晴らしい基本理念、基本方針を貫かれ、目指す病院を作りあげ発展されていくと思います。神戸市医師会もこれをサポートしてまいりますので堀本会長の東灘区医師会とも連携をさらに深めていただきたいと思います。

診療科も増え、最新医療機器も装備され、今後患者さんも広域から集まる事でしょう。最近神戸市内でも産科、小児科を閉めた病院がいくつかありましたが、そのなかで分娩も扱う産婦人科があり、小児科もしっかりと頑張っている総合病院として貢献度も高く、地域の医師会としても大変力強く感じており、是非続けていただきたいと思っております。

また第二期工事の後、2022年にはグランドオープンされるとお聞きしております。神戸大学病院との強いパイプのある基幹病院として、具院長をはじめとして、全スタッフの皆さん方とともに、今後ますます、甲南医療センターが発展されますよう、また明るい未来がこの病院にありますようにお祈りいたしまして、簡単ではございますが、地元医師会からのお祝いのご挨拶とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。



# 祝辞

一般財団法人 住吉学園 理事長

竹田 統

この度は甲南医療センターの竣工、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、本日、竣工式典にお招き頂きまして誠に有難うございます。

私、住吉学園といたしましては、医療関係はわかりませんので、住吉学園と甲南病院との関わりと言うのを少し、お話させて頂きます。

皆様をご存知のとおり、甲南病院の創始者は平生鈺三郎先生です。平生先生は神戸で数々の功績を残されていますが、住吉村にお住まいになられてからは、甲南学園創立、灘購買組合、現在のコープ神戸の設立などに尽力されると共に、住吉村の村会議員として、住吉小学校の教育改革、住吉幼稚園の設立と住吉村にも多大なる功績を残されました。

また、住吉村もいずれ市町村合併の時代が来ることを予測されて、村有財産は村民の為に使うのが望ましいと財団法人住吉学園の設立を進言されたのも平生先生です。

また、平生先生の宿願であった、誰もが平等に医療の恩恵を受けることができる理想の病院、病人のための病院の建設にあたり、住吉村はその理念に賛同し、現在の土地を5年間無償で貸与致しまして、昭和9年に甲南病院が開院致しました。

その後、昭和25年からは、住吉学園が村有地の移譲を受け、甲南病院の土地も住吉学園の所有地として現在も利用して頂いております。

病院設立当初から住吉村及び住吉学園代表が甲南病院理事として就任させて頂き、お互いが助け合う、良い関係が創立以来続いております。

甲南病院は開院から85年間、平生先生の理念を守り続けてこられて、地域の人々から愛される病院として、また、地域になくはない病院として、地域医療、救急医療等による貢献度は計り知れないものでございます。今後、甲南医療センターは神戸市東部の基幹病院として、今までより以上の高度な医療を提供して頂き、地域の人々が甲南医療センターで治療を受ければ安心と人々から言われるような病院になって頂くことを望みます。

その為には、住吉学園も微力ながら協力させて頂くことをお約束し、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。



# 祝辞

神戸市議員 安井 俊彦

みなさん、こんにちは。神戸市議員の安井でございます。今日は市議員が来るような、そんな場では無い事は、よく分かりながら灘・東灘の区民、市民を代表してお祝いに来させて頂きました。ある種の覚悟を持って、この場に来させて頂きました。

具先生とお会いしました時に、具先生の口から「安井さん、私は一番難しそうな病院を選んで、甲南病院に来ましたけれども、私が思ったより以上の重症ですよ」と、こう申されました。「しかし、自分の余生をこの病院にかけるんだ」と「最後のロマンをこの病院で果たすんだ」と言う言葉に、男惚れを致しました。私も世代が同じですから「先生、安井も殉死しますから、一緒にやらせて下さい」と甲南病院のしもべとなって、私はやる決心を致しました。

灘・東灘区には、市民病院がありません。25年前、1月17日阪神大震災が私達の町を襲いました。甲南病院は2人の看護師さんを失いながら、まるで野戦病院のごとく市民を守り通して頂きました。東灘・灘の市民は、その御恩を忘れておりません。山にそびえる「甲南病院」というあのネオンを見る度に、心が安らぎそして安心感を持って生活をしている訳であります。甲南病院が、現地で再建をするのか、他へ移るのかというのは、議会人としても、関心事でございました。現地で留まる、そして80年ぶりの大改造をやる。私達は拍手を持って迎えましたけれども、しかし甲南病院は多くの借財を抱えることになります。もし、この甲南病院が、財政的に何かあるならば、「それは市民の責任であろう。私達、灘・東灘の市民の責任である」そのように、実は思っている次第でございます。そういう意味では覚悟を持って、この会に来させて頂きました。

具先生は、議員が大嫌いな人でございまして、議員性悪説の方でございます。したがって、神戸市に交渉しに行く時も、自ら課長、係長を訪ねて行かれます。私はその姿を見て、後姿に手を合わせる事が何回かありました。時々、電話を入れると「安井さん、心が折れそうになります」と言う事を聞かされます。折れないで欲しい。市民の為に、区民の為に、頑張ってください。私はたまたま、甲南大学出身の議員でございますので、平生鈺三郎先生が、甲南病院、「真に患者のための病院を創る」そういう理想に燃えて、創られた病院が、他の病院に名前が変わるような事があつたら、「市民の恥である」そのように思っている訳でございます。幸いにして、先程お話頂きました住吉学園の竹田理事長そして今日幹部の方もお越しですけれども、義理堅い人々が甲南病院を後ろからしっかりとバックアップされ、そして神戸大学の医学部が支えて下さっている。神戸市民にとって、こんなに幸せな事はないと思っております。

今日のこの日はある意味では、みんなで誓い合う日ではなかろうかとこのように思っている訳でございます。最後でございますが、私は神戸で一番古い、45年間神戸の為に働き続けて参りました議員であります。宮崎、笹山、矢田、そして現在の久元市長。今、久元市長は、十分なキャリアを持ち、中央とのパイプを活かしながら、神戸の再生を図ろうとして、三宮土地改造をわずか二期で市長は提案を致しました。車をいじめて、人間が豊かに生活できる都市空間を創っていく。そういうコンセプトの中で、今市長と議会が力を合わせてやっております。これは、大阪、京都、東京には出来ない都市創りであります。そういう意味で今日お集まりの皆さんが力を合わせて頂きます事をお願い申し上げます。

今度、名前が甲南医療センターに変わります。この名前の元に、神戸市民が一致団結して、必ず日本一立派な病院にしてみせる。医療産業都市にふさわしい病院にしてみせる。神戸大学の医学部の皆さんの力を借りて、議員の一人としてそう願っております。どうか、今日の日を忘れずに誓い合う日であって頂きたい。心からお祝い申し上げます。最後ですが、市長と議会とで平生鈺三郎先生を神戸市の教科書副読本に載せて、神戸が生んだ偉大な偉人として、神戸の子供達に教えて参りたいと思っております。平生鈺三郎、賀川豊彦、そして嘉納治五郎、こういった人々も副読本にさせて頂きたい。市長の肝いりで今、私達はやろうとしています。どうか、神戸市と一体となって皆さんのお力をお借り致しますよう、心からお祝い申し上げまして、ご挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。有難うございます。おめでとうございます。



## 祝辞

神戸大学 理事・副学長

## 杉村 和朗

甲南医療センター竣工、誠にありがとうございます。

私は、この改築プロジェクトに関して当初から関わっておりましたので、本当に喜びひとしおで、大変嬉しく思っております。先程から、久元市長はじめ皆様方から応援やあるいは期待、そういったものが本当に強く心に響いております。日頃を増して、貴院の舵取りにあたっている具先生は肩に力が入っておられるんじゃないかと思っております。

17,8年前でしょうか、具先生が神戸大学で最初の肝胆膵外科教室の教授になられました。本当にその時は、吹けば飛ぶような小さな教室だったのですが、この15年間の間に日本を代表する肝胆膵外科に育てあげられました。具先生には「ミッションをまっしぐらで実現する」という真面目さがございます。また、院長になられて、次の年に黒字転換をされ、病院を経営するという面でも、一生懸命にまっしぐらに飄々として実績を上げておられます。

実は私は同級生なので、気楽に「先生の意見を聞かせて欲しい」と週末に昼夜なく、よくお電話を頂きます。大した意見ではございませんが、私の意見を申し上げさせて頂いております。休日関係なく、病院に行かれ、悩んで電話をされているのだと思いい、本当に多くの課題と難題に直面し解決に取り組む姿勢に感心している次第です。

甲南医療センターは、インフラも出来上がりましたし、皆様方からの応援、期待そして具先生をリーダーとしての病院職員の頑張りで、本当に素晴らしい病院になっていくのを本当に期待しております。

日本の場合、アメリカと違って公的病院の方が、私立より大きい施設が多いです。この点、アメリカでは圧倒的に自由度が高い私立病院が非常に発展しております。是非、

新病院を日本を代表する素晴らしい病院に育てて頂いてそして、地域の医療、日本の医療そしてまた神戸大学とも是非、人材を育成すると言う点で連携して頂くことを期待しております。

それでは、甲南医療センターの竣工を記念して、そのお祝いに皆様と杯を上げたいと思います。甲南医療センターの輝かしい未来を記念して乾杯致します。



## 祝辞

厚生労働省 政務官／参議院議員

## 自見 はなこ

先生方、皆様こんばんは。

只今、ご紹介頂きました参議院議員の自見はなここと申します。小児科の医師をしておりましたが、3年前の参議院議員選挙の全国比例区で皆様のご支援を頂きまして、国政に送って頂きました。

本日は甲南医療センターの竣工の祝賀式、大変おめでとうございます。85年を超える歴史の中で、医療センターとして生まれ変わって、そして神戸大学との連携の元で益々、更にスケールアップをする形で地域に貢献していただける、その門出だという事で本日この祝宴の場が開催されているというふうにて伺っております。

現在、医師の国会議員は大変、少のうございますが、参議院の自民党には3名しかいない訳であります。その中であって、この度の9月13日の内閣改造におきまして、加藤勝信厚生労働大臣の元で厚生労働大臣政務官を拜命したところであります。直接の但務は、子ども・子育て、年金とそして労働ということですが、まさに医師の働き方と言うのも所管をさせて頂くという事で大変緊張している日々でございます。

本日皆様にお伝えしたいのは、地域医療の大切さであります。各地域ごとに、人口や年齢構成、疾病の傾向も異なります。地域医療構想の中で、どういった役割がそれぞれの医療機関、医師にあるのかということ、各地域で考えていくことであります。決して、全国一律の基準で分析したデータだけで評価はできません。先般公表された424の公立・公的病院の実名が入った再編検討のリストに掲載された病院でも、すでに病床再編や地域の診療所等とのネットワーク強化などの改革を進めているところも数多くあると伺っております。こうした取り組みを支援するとともに、現場の先生方のお声を真摯に伺い、地域の生活を支えるインフラとしての医療を守っていきたく、強く思います。

本日、大学関係者の皆様もおいででございますが、これまで先生方のご支援のもと「医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟」(会長：河村建夫衆議院議員、事務局長：自見はなこ)として取り組んできた臨床研修での外科、産婦人科、小児科、精神科の必修化が来年度から実現するなど、基礎的な診療能力を早期に身につけるための取り組みが実を結んでいます。さらに、医学部の5,6年生にもより参加型の医療行為が出来るようにと法改正を目指しての運動が、これは有難い事に厚生労働省の中でも進んできております。もう、まもなく法改正まで見えているところでありますので、それができると、医学部5,6年生においてより実践的な医療行為ができるというところになっておまして、初めて医学部5,6年生と初期研修1,2年目がシームレスに結ばれる、医師による私達の手による医師の養成改革の在り方というものが実現する予定でございます。これと並行して、医学教育の重要性について患者さんの理解を得る取り組みや、医師賠償責任保険の整備、医療安全教育の充実など、医療を受ける側も提供する側も、より一層安心できる環境を整えていくことも、しっかりと進めて参ります。先生方におかれましては、大変日常の診療、研究様々な分野でお忙しい日々をお過ごしだと思いますが、私のような医師の国会議員でありますとかあるいは、医師で行政に入っている人間も同じ志の元でしっかりとそれぞれの立場で頑張っております。

2040年まで私達の社会保障、これから20年、人口動態の変化により高齢化が進展し、社会保障費も増大することから大変きつい登り坂でございますけれども、先生方、皆様のご指導を仰ぎながら、甲南医療センターの発展と共に頑張ってまいりたいと思います。

本日は改めて、誠にありがとうございました。



# 天才ジャズ ピアニスト 松永 貴志 Special Live

甲南医療センター竣工を祝うスペシャルライブ。  
世界的ジャズピアニスト松永貴志率いる  
ジャズトリオに、サクソとボーカルを交えた、  
この日限りの特別編成で名曲の数々を  
演奏していただきました。



## 松永 貴志 (作曲家/ピアニスト)

1986年、兵庫県生まれ。17歳でメジャー・デビュー。ハービー・ハンコックとの共演をきっかけに世界のミュージシャンから喝采を集める。NY ブルーノート・レーベル80年の歴史上、ジャズの帝王マイルス・デイビスの記録を塗り替え最年少リーダー録音記録を樹立。テレビ朝日「報道ステーション」フジテレビ「スーパーニュース」「新報道2001」など数々のTV番組オープニング曲やCM曲を手掛ける。2017年、世界10カ国ツアーを開催。抜群のリズム感と圧倒的なピアノリズムは世界中から高い評価を得ている。

## 松永 貴志 Special Live

JAZZ QUARTET  
for RECEPTION



● 松永 貴志(ピアノ)



● 光岡 尚紀(ベース)



● 佐藤 英宜(ドラム)



● 中村 有里(サクソ)



● 池田 杏里  
(ゲストボーカル)

# 働きたい病院ランキング

地元医師700名にアンケートが行なわれ、近畿エリアの「働きたい病院」ランキングが発表されました。

### >> 調査期間

2019年8月23日～9月3日

### >> 対象病院

病床数200以上の施設のうち、  
104施設

### >> 対象医師

近畿エリアに居住の  
「開業医」ではない医師710名



| 順位 | 病院名                  | 点数  |
|----|----------------------|-----|
| 1  | 北野病院(大阪)             | 122 |
|    | 神戸市立医療センター中央市民病院(兵庫) | 122 |
| 3  | 淀川キリスト教病院(大阪)        | 104 |
| 4  | 住友病院(大阪)             | 98  |
|    | 関西電力病院(大阪)           | 98  |
| 6  | 大阪市立総合医療センター(大阪)     | 95  |
| 7  | 高槻病院(大阪)             | 85  |
| 8  | 京都大学医学部附属病院(京都)      | 82  |
| 9  | 大阪国際がんセンター(大阪)       | 77  |
| 10 | 京都第一赤十字病院(京都)        | 74  |
| 11 | 大阪警察病院(大阪)           | 73  |
|    | <b>甲南医療センター(兵庫)</b>  | 73  |
| 13 | ベルランド総合病院(大阪)        | 72  |
| 14 | 国立病院機構 京都医療センター(京都)  | 71  |
| 15 | 大阪大学医学部附属病院(大阪)      | 70  |

TOP15の大半が兵庫県外の病院ですが、**県内では、甲南医療センターが第2位となっています。**

今後も近隣の先生方には「働きたい」だけでなく「安心して患者さんを紹介できる」病院として、  
また、地域にお住まいの方々からは「安心して診察を受けられる」信頼される病院として在り続けます。

## ◎救急診療の強化により、救急応需件数が市内第2位



救急医療を強化した甲南医療センターがスタートして、  
まもなく3ヶ月が経とうとしています。  
これまでに、救急応需件数が増え、市内においては2番目の件数に  
対応するまでになりました。また、昨年の同時期の救急応需件数を  
比較すると、今年は**約1.7倍**の件数を受け入れています。  
これからも、日々の救急医療にも全力を尽くし、  
地域の皆様の健康を支える病院でありたいと願います。

2018年10月～12月  
1872件

**約1.7倍**

2019年10月～12月  
3208件

## ◎2020年4月、呼吸器内科の診療開始 常勤2名体制に

2020年4月には呼吸器内科を新設し、新たに2名の常勤医師が着任します。肺がん・気管支喘息・COPD(慢性閉塞性肺疾患)など、肺疾患、呼吸器疾患についての対応が可能となります。



# 貸切バスで 快適な旅

安全

快適

親切

グループでの  
パーティーや旅行に

会社での  
見学・研修に

クラブでの  
合宿・試合に

豊富なバリエーションで、あらゆるシーンに対応いたします。



## マイクロバス

乗務員 1名  
座席数 27  
(内補助席 6)  
トランク なし

## 中型送迎バス

乗務員 1名  
座席数 44  
(内補助席 7)  
トランク なし

## 大型観光バス

乗務員 1名  
座席数 53 ~ 56  
(内補助席 8 ~ 10)  
トランク あり

その他、ワゴン車タイプや大型送迎バスなどもございます。(いずれも運転手付き)



KOBE MINATO KANKO

みなと観光バス株式会社

〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東1丁目4  
TEL:078-845-3710 FAX:078-845-3713

http://www.kobe-minato.co.jp

みなと観光バス

ご相談・お問合せ・お見積り

お客様窓口 078-845-3710

国土交通省制定「新運賃料金制度」に基づいた適正料金にて運行いたしております。

神戸老舗《萩原ブランド》を使用した  
美味しいコーヒーの店

# Ric Cafe!



六甲アイランドにお住まいの皆様、六甲アイランドに訪ねて来られた皆様、ほっと一息つける温かみのある落ち着いた空間と、美味しいコーヒーやバラエティに富んだフード、デザートをご用意して皆様のお越しをお待ちしています。

※六甲アイランド甲南病院を利用されている方には診察券のご提示でドリンク 50円割引サービスを実施しています。



六甲アイランド シティモール (六甲アイランド甲南病院 2F出口から直ぐ)

Ric cafe リックカフェ AM7:30~PM6:00(年中無休)

〒658-0024 神戸市東灘区向洋町中2丁目11 TEL:078-811-7116



想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工務店

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 7-1-8  
TEL: 078-265-3314

## Konan SC “甲南”と共に

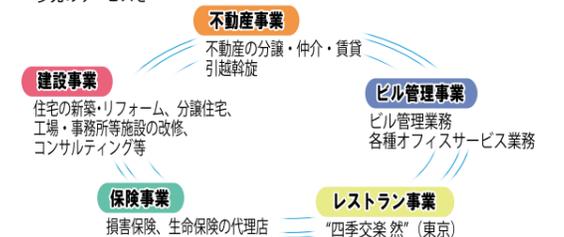
- |                                                 |                                                     |                                                     |
|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <b>保険代理事業</b><br>・事業活動の保険<br>・賠償責任保険<br>・各種損害保険 | <b>文化事業</b><br>・カルチャー教室(20講座)<br>・地域連携事業<br>・看護英語事業 | <b>環境事業</b><br>(警備・清掃・用度)<br><b>海外事業</b><br>(留学・研修) |
|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
- 業請事業 (派遣・事務請・図書館業務) の各種事業

## (株) 甲南学園サービスセンター

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町2-29-15 (平生記念館内)  
お問合せ TEL:078-854-1605 / FAX:078-854-0027  
H.P http://www.konan-isc.co.jp

より良い明日へ  
一歩先のサービスを

Kawasaki  
Powering your potential



カワサキ ライフ コーポレーション

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号 神戸クリスタルタワー  
TEL: 078-360-5400 FAX: 078-360-5405 URL: http://www.kawasaki-life.jp  
事業所: 神戸 / 東京 / 岐阜 / 明石 / 坂出

